

平成30年飯田市議会第4回定例会一般質問通告表

平成30年12月6,7日

No.	氏名	項目・要旨
1	塚 平 一 成 (会派のぞみ) 【 30 分 】	<p>1 魅力発信に向けた地域運営について</p> <p>(1) ふるさと納税「飯田市20地区応援隊」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 二年目を迎えて現時点の反響はどうか ② 今後の在り方をどう考えるか ③ 今後の取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ア 幅広い周知についてどう考えるか イ 人的交流の促進にどう繋げていくか <p>(2) 地域協働による物産創出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市内の事例をどう把握しているか ② 地域の魅力発信ツールとしてどう評価するか ③ 地域の取り組みが産業に結びつく可能性についてどう展望するか
2	福 沢 清 (会派みらい) 【 40 分 】	<p>1 今、国会で審議されている水道法の改正に係る飯田市の水道行政について</p> <p>(1) 水道法改正の根拠となっている事象について、飯田市の実態はどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 水道管路の老朽化の進行について飯田市の実態はどうか ② 老朽化が原因の水道管事故の対策はどうか ③ 水道施設及び管路の耐震化計画の策定はどうか ④ 水道事業に係る職員数の推移はどうか ⑤ 水道事業の収支の状態はどうか <p>(2) 国で進めようとしている水道法の改正は飯田市として、どのように受け止めて今後の水道行政を展開していくか</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 水道法改正の「広域連携」について飯田市ではどうか ② 「官民連携」とりわけ「コンセッション事業」が新しい提案とされているが飯田市ではどのように受け止めているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福 沢 清 (会派みらい) 【 40 分 】	2 高齢化社会に伴う農地利用の弾力的運用について (1) 農業従事者の高齢化と耕作放棄地の推移はどうか (2) 農業振興地域の見直しと、農用地区域の除外時における要件項目緩和の必要性はどうか (3) 「農山漁村再生可能エネルギー法」の飯田市での運用はどうか
3	岡 田 倫 英 (会派のぞみ) 【 40 分 】	1 リニア・三遠南信時代に向けた遊歩道の活用について (1) 観光、市民の健康増進における活用状況は (2) クアオルト(ドイツ語の「療養」)の考え方を反映出来ないか (3) 大交流時代に向けた付加価値づくりが出来ないか ① (仮称)天龍峡大橋の開通をにらんだ試行はどうか ② シビックプライド、ブランディングの向上を期待出来ないか 2 地区公民館の維持・改築について (1) 地区公民館の施設が果たしている機能・役割は ① 地区活動全般の拠点としてどうか ② 災害対応の拠点としてどうか (2) 各施設の現状についてどのような課題があるか ① 市民から寄せられている声は ② 公衆無線LANを設置する考えは ③ 昭和56年以降に建てられた施設に関する中長期計画の検討状況は (3) 市財政全体の中でどう位置付けていくか
4	小 林 真 一 (公明党) 【 40 分 】	1 ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)の現状とこれからについて (1) TOJの開催地の決定条件は (2) TOJの誘致努力や開催時の創意工夫は (3) 国道256号工事に伴うTOJ開催への影響は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 林 真 一 (公 明 党) 【 40 分 】	(4) 飯田市における、児童、生徒、若者への影響力は (5) TOJにおける飯田市のPR効果をどう認識しているか (6) 名称「南信州ステージ」に込めた思いは 2 飯田市の自転車市民共同利用システムについて (1) 自転車市民共同利用システムの目的と現状について ① 自転車市民共同利用システムの目的と利用状況は ② 市民への啓発は ③ 安全管理の状況は 3 個人所有自転車の安全対策について (1) 自転車事故の危険性をどう認識しているか (2) 自転車保険の加入周知への対応は
5	木 下 容 子 (市 民 パ ワ ー) 【 30 分 】	1 地域の宝を生かしたまちづくりについて (1) 地域ブランド構築について ① 2014年度から実施された「飯田ランキング」は現在どのように生かされているか (2) 「いいだ未来デザイン2028」戦略計画について ① 本年の戦略計画には「AVIAMA総会を契機として『小さな世界都市』への大きな一歩」との記載があるが、総会が終了した現在、今後の方向性は ② 2017年度戦略計画で取り上げられていた「シティプロモーション活動」や「シビックプライド醸成」の記載が、今年度は省かれている。シビックプライドについての考えは (3) 地域の宝を発掘し、磨き、情報発信するために ① 庁内部署間の連携は ② 市民との協働は
6	永 井 一 英 (公 明 党) 【 20 分 】	1 リニア時代を見据えて地域資源を生かすには (1) 国は、観光立国戦略を進めていると聞く。これからの観光政策の意味するものは。また市の考えは

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	永 井 一 英 (公 明 党) 【 20 分 】	(2) 市内各地域では、それぞれの地域資源を生かし観光客の呼び込みも見据えた地域振興の取り組みが行われている。市はどのように盛り立てていくか (3) 風越山の活用について ① 風越山は、市のこれからの観光政策の中でも重要な資源になると考えるがどうか ② 丸山まちづくり委員会では、「未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト」をまちづくり委員会の事業として位置づけ、風越山を生かす取り組みを進めている。市はどのように関わるか ③ どの地域の取り組みも一定期間、財源的支援が必要となる。現制度は期間的に不十分だと思うがどうか ④ どの地域の取り組みも、身近なところにプロフェッショナルのコーディネーターが必要だと考えるがどうか ⑤ 今後、風越山の自然環境を保全していくことも重要になるが、市はどのように考えるか
7	清 水 優 一 郎 (会 派 の ぞ み) 【 30 分 】	1 上下水道事業について (1) 上下水道事業の現状と今後の課題は (2) 下水道事業における「合併処理浄化槽」の位置づけは (3) 「合併処理浄化槽」の維持管理、長寿命化の方針は (4) 飯田市の水のペットボトル化について ① これまでの取り組みの総括は ② 災害時利用などの可能性は ③ 飯田ブランドとしての可能性は
8	山 崎 昌 伸 (会 派 の ぞ み) 【 30 分 】	1 学校教育について (1) 小中学生の学力向上にどう取り組むか ① コミュニティスクールは、学力向上にどう寄与するか (2) 小学校及び中学校における働き方のあり方への取り組みは ① 「部活動指導員」にはどのように対応しているか

No.	氏名	項目・要旨
	山崎昌伸 (会派のぞみ) 【 30 分 】	(3) ネット依存対策への取り組みは (4) 夏休みの延長についての考え方と対応は ① 県教育委員会の方針に、どのように対応する考えか ② 当事者(児童・生徒、保護者、学校)の意向をどのように反映するか
9	木下徳康 (会派のぞみ) 【 30 分 】	1 「いいだ未来デザイン2028」への市民の関与について (1) 松尾地区からの「スポーツパークIIDA構想」の要望について ① 提案をどう考えるか ② 通称「天竜グラウンド」の活用に関する検討状況はどうか (2) 市民からの提案にどう向き合うか 2 スーパー・メガリージョンで果たせる飯田市の役割について (1) リニア中央新幹線開通後の飯田市について ① 位置づけは ② 役割をどう考えるか ③ 「癒やし」、「健康づくり」を中心に進めるのはどうか ④ 将来の飯田市のスポーツ・健康への取り組みをどう考えるか
10	新井信一郎 (会派のぞみ) 【 30 分 】	1 リニア新時代に向けた、土地利用のあり方について (1) 国土利用計画について ① 飯田市計画について ア 概要は (2) 飯田市都市計画審議会 土地利用・景観部会について ① 飯田市拠点集約連携型都市構造推進戦略(立地適正化計画)について ア 検討の進め方は イ 進捗状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新井 信一郎 (会派のぞみ) 【 30 分 】	<p>② 公共交通の機能維持について</p> <p>ア 高齢者の運転免許証返納の状況と、今後は</p> <p>イ 若者が自家用車を保有しなくなる時代変化への対応や、考えは</p> <p>③ 人口密度と誘導施策の視点について</p> <p>ア 都市機能が集積されている区域の人口密度維持は</p> <p>イ 立地適正化計画で、どこまで居住を誘導しようとしているか</p> <p>④ 地域拠点の視点について</p> <p>ア 地域拠点とは</p> <p>イ 地域拠点の役割は</p> <p>ウ 地域拠点は、都市機能集積区域に設定しなくて良いこととなっているが、現状、次世代の候補エリアとして機能していると考えられるが、どうか</p> <p>(3) 市内20地区の個性と役割について</p> <p>① 時代にあった土地利用関連計画となっているか</p> <p>② (仮称)リニア新時代市民会議など市民が意見を出し合える環境づくりは考えられないか</p>